

第31回 北海道肉用牛共進会

平成27年9月7日(月)



今金牛大健闘

8月28日、「農業協同組合法等の一

部を改正する等の法律案」が参議院
本会議で可決し、同改正法が成立し
ました。施行は来年平成28年4月と
なります。

メディアでは『農協改革は、全中の
社団法人化が目玉。今後単位農協
は、全中以外の公認会計士事務所の
監査を受けることが義務づけられる』
という内容が主に報道されていまし
た。また、林芳正農林水産相は28日
の閣議後の会見で、同法改正の意義
について『地域農協が農業者と手を
たずさえ、農業所得の向上に全力を
挙げてもらうことが目的の改革』と
述べています。

しかしながら、今回の農協改革で
は肝心の「構造改革」については、
広く国民の知るところとはなりませ
んでした。

ややもすれば「農協は既得権益で
あるから構造改革は当然」という單
純な図式に落とし込まれがちですが、
「国家の食料安全保障」「農村地域社
会の維持」等を考えれば、そうした
批判は見当違いであると言えるので
はないでしょうか。以下の四点は、
そうした観点から構造改革として懸
念されるものです。

構造改革での懸念

（農地法・農業委員会法も改正）

①アメリカの金融業界は、農林中金
やJA共済という巨大マーケットが
欲しい。将来的に農協の金融事業の
市場にアメリカ金融業界が参入する
ための布石が打たれた。

②世界最大の穀物メジャーである
カーギル社にとつて、世界で最も買
収したい競合相手は、株式買収が不
可能な協同組合である全農。改革で、
全農の株式会社化への道筋がつけら
れた。

③農地法及び農業委員会等に関する
法律も改正され、農業に従事しない
外国資本であっても、農地を所有す
る株式会社（農業生産法人）に49.
9%まで出資可能となつた。

④農業委員会の委員が、地元の農業
従事者からの公選制から、地方自治
体の首長による『任命制』へと変わつ
た。

JAグループは、平成27年2月9日、
自民党農林幹部から提示された「法制度等
の骨格案」について、受け入れることを決
定しました。
Q Aについて（より）
成27年3月JA北海道中央会発行「農協改革に係る
JAについて」より

それにも関わらず、同11月に規制改革会
議が、「准組合員の利用規制」と「監査制
度を含めた中央会制度の見直し」を一方的
に提言した以降、安倍政権は、「改革断行」
という前のめりの意気込みだけで、現場実
態を踏まえずに、世論を誘導してきました。
今回の骨格案は、一体、誰のための何の
ための改革なのかと、強い憤りを感じざる
を得ないものであります。JAグループ
北海道としては、農協法改正にあたり、全
道の組合員・JAにとつて不利益な形とな
らないよう、万全を期して取り組むことと
しております。
また、農業所得の向上と農村地域の活性
化に向けて、自己改革の実践に努めること
が重要となっています。

農業協同組合法等の一部を改正する等の法律案の概要

趣旨

農業の成長産業化を図るため、6次産業化や海外輸出、農地集積・集約化等の政策を活用する経済主体等が積極的に活動できる環境を整備する必要がある。このため、農協・農業委員会・農業生産法人の一体的な見直しを実施する。

改正の概要

農業協同組合法の改正

- ◎ 地域農協が、自由な経済活動を行い、農業所得の向上に全力投球できるようにする

【経営目的の明確化】(第7条)

- ◆ 農業所得の増大に最大限配慮するとともに、的確な事業活動で高い収益性を実現し、農業者等への事業利用分量配当などに努めることを規定する

【農業者に選ばれる農協の徹底】(第10条の2)

- ◆ 農業者に事業利用を強制してはならないことを規定する

【責任ある経営体制】(第30条第12項)

- ◆ 理事の過半数を原則として認定農業者や農産物の販売等に実践的能力を有する者とすることを求めるなどを規定する

【地域住民へのサービス提供】(第4章第1節から第3節まで)

- ◆ 地域農協の選択により、組織の一部を株式会社や生協等に組織変更できる規定を置く

- ◎ 連合会・中央会が、地域農協の自由な経済活動を適切にサポートする

【全農】(第4章第1節)

- ◆ 全農がその選択により、株式会社に組織変更できる規定を置く

【都道府県中央会】(附則第12条から第20条まで)

- ◆ 経営相談・監査・意見の代表・総合調整などを行う農協連合会に移行する

【全国中央会】(附則第21条から第26条まで／第37条の2)

- ◆ 組合の意見の代表・総合調整などを行う一般社団法人に移行する。また、農協に対する全中監査の義務付けは廃止し、代わって公認会計士監査を義務付ける

農業委員会等に関する法律の改正

農地利用の最適化(担い手への集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進)を促進するための改正を行う

- ◆ 農業委員の選出方法を公選制から市町村長の選任制に変更(第8条)

- ◆ 農地利用最適化推進委員の新設(第17条)

- ◆ 農業委員会をサポートするため、都道府県段階及び全国段階に、農業委員会ネットワーク機構を指定(第42条)

農地法の改正

- ◆ 6次産業化等を通じた経営発展を促進するため、農業生産法人要件(議決権要件、役員の農作業従事要件)を見直す

(第2条第3項)

効果

- 地域の農協が、地域の農業者と力を合わせて農産物の有利販売等に創意工夫を活かして積極的に取り組めるようになる
- 農業委員会が、農地利用の最適化をより良く果たせるようになる
- 担い手である農業生産法人の経営の発展に資する

第31回北海道肉用牛共進会 2部・5部・8部で主席に輝く！！

第2部主席「さくら」
(村瀬一人さん)



第5部主席「きき」
(佐藤弘一さん)



第31回北海道肉用牛

共進会（主催：ホクレン）が9月7日安平町にて開催され、沢山の応援の中で各地区の代表牛による全道一が競われました。

今金からは、第2部で村瀬一人さん出陳の「さくら」、第5部で佐藤弘一さん出陳の「きき」がそれぞれ主席を獲得し、牛群の部として第8部で「さくら」「ももこ」「きき」が主席に輝きました。（※「ももこ」は佐藤弘一さん出陳）

今金和牛の改良の成果と育成技術の向上が存分に披露された共進会となりました。今後も日々の改良と技術向上を通じて、更なる飛躍に期待が高まります！

今金男しやすく！今金黒毛和牛！ さっぽろオータムフェスト2015



北海道の味覚が大集合し、毎年100万人以上が訪れる食の祭典「さっぽろオータムフェスト2015」が9月11日から10月4日にかけて札幌市大通公園で開かれました。

今金町からも8丁目会場にて25日から28日までの4日間、役場をはじめとして町内有志

の協力を得て出店されました。今金ブースでは、今金男しやすく・軟白長ネギを始めとした特産品の販売や、今金蒸かしイモなど今金の美味しい食材を存分に活かしたグルメが提供され、来店頂いたお客様に大変ご好評をいただきました。

実りの秋を迎えました～9月5日稲刈り開始・9月16日新米出荷～



初出荷を祝い記念撮影

手塩にかけた稻を収穫
喜びの瞬間です

9月5日、町内のトップを切って吉本辰也さんが稲刈りをスタートさせました。ご本人によると作柄は平年並みとのことです。が、台風など大きな被害もなく順調に生育し収穫期を迎えた事もあり笑顔での収穫始めとなりました。

また、同月16日からはライスター・ミナルへの出荷が始まりました。

本年出荷のトップとなつたのは、岡林国光さんと吉本辰也さん。品種はいずれも「ゆめぴりか」となりました。

午前9時30分からは初出荷を祝うセレモニーが行われ、外崎秀人町長・小田島親守組合長など多くの関係者と共に喜びを分かち合いました。

9月5日、町内のトップを切って吉本辰也さんが稲刈りをスタートさせました。

農村ホームステイ事業 第2弾

プロッコリーの収穫を行う
遠藤先生

年金友の会 パークゴルフでハッスル！



9月5日利別川河川敷清流コースにおいて、今金町農協『年金友の会』パークゴルフ大会が開かれました。当日は晴天に恵まれ、30余名の会員の皆様に参加頂きました。参加者の皆さんはさわやかな汗を流しパークゴルフを楽しんでいました。

年金友の会では旅行をはじめとして、皆様に楽しんで頂ける行事を企画していますので是非ご加入・ご参加下さい。

先月号でも取り上げた、今金町農協青年部が取り組む「農村ホームステイ事業」が9月26～27日に第2弾として行われました。今回受け入れ先の農家となつたのは、前青年部部長の仁木儀一さん宅。今金小学校の遠藤美由樹先生がホームステイし、プロッコリーの収穫作業などをを行い農業への理解と交流を深めました。交流の様子はJA道青協のホームページに掲載されま

檜山農業改良普及センター檜山北部支所より

営農情報10月号

()は、9月15日作況調査の平年値との遅速日数

今後の農作物管理		今後の農作物管理	
水稲 <p>今年は「暖冬で冷夏」の懸念や「エルニーニョ情報」もある中で、実際6月下旬から7月前半(幼穂形成期～前歴期間)までは低温に推移し「危険な状況」でしたが、思わぬ台風くずれが高温をもたらし、難なく終わりました。その後の7月下旬から8月前半まで高温が続いたことが今年の実りに繋がっています。</p> <p>まずはほっとしたところですが、来期に向けての後始末もしっかりと行いましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先ず、ほ場の乾燥化を促しましょう。 収穫作業で傷んだほ場の枕地や轍(わだち)の表面水は溝切りを行い、ほ場外に排水しましょう。ほ場が乾燥している状態で心土破砕を施工し透水性を高めましょう。 ・次に、稻わらの処理です。 「わら焼き」も許されない時代ですので、秋鋤込みを検討下さい。収穫後早めに鋤込み、腐熟を促すことがポイントです。尚、鋤込む場合は(ヨークターー耕は避け)スタブルカルチなどによる「粗耕起」とします。 ・畦畔の補修も忘れずに ・水田の土壤診断実施 pHや磷酸及び塩基(石灰・苦土・加里)の他、ケイ酸や培養窒素の診断を行い施肥改善(土改材含む)に繋げましょう。 	牧草 <ul style="list-style-type: none"> ・貯蔵粗飼料の把握 粗飼料確保量の点検、粗飼料分析を実施しましょう。今後、大雨や台風等により冠水や倒伏を受けた原料の場合は、サイレージの発酵品質を確認するとともに、必要に応じて給餌の際にカビ吸着剤の使用を検討してください。 ・石灰質資材の施用 草地は播種後年数が経つに従い、土壤の酸性化が進み、牧草の量が低下します。酸性化を防ぐために石灰質肥料を施用しましょう。施用の目安としては、2～3年毎に炭カル40kg～60kg程度を表面施用しましょう。 ・土壤分析をしましょう 来年の適正な施肥のため、土壤分析を行いましょう。計画的に毎年、何箇か調査し、植生改善のための施肥について検討しましょう。 <p>維持草地:土壤の表面から5cmを10カ所程度採上 草地更新:深さ15cmで5カ所程度採上 飼料用とうもろこし:深さ30cmで5カ所程度採上</p>	畜産 <ul style="list-style-type: none"> ・分娩前後の飼養管理 肉用牛では濃厚飼料の増し飼いや、酪農では乾乳牛を前期と後期に分けた飼料給与により分娩後の経過を改善しましょう。酪農では乳量・乳成分に注意し、乾物摂取量の確認を行い、ボディコンディションの回復を図りましょう。 ・初乳の給与 自然ほ育や人工ほ育の別に問わらず、牛舎環境改善(消毒や換気)を行い衛生的な環境を保つとともに、人工ほ育の場合は良質な初乳を十分給与しましょう。 ・子牛の寒さ対策は今から準備! 子牛の管理適温は13～25℃です。朝晩冷え込んできますので、牛床に敷料をたっぷり使い、汚れたら取り除き乾いたものを追加しましょう。 また、牛体に直接冷たい風が当たらないように、すきま風をふさぐ工夫をしましょう。天井の高い施設では、コンバネやシートで一部を低くし、日中は換気を良くするため、はいでおきます。 	飼養管理 <ul style="list-style-type: none"> ・分婉前後の飼養管理 肉用牛では濃厚飼料の増し飼いや、酪農では乾乳牛を前期と後期に分けた飼料給与により分娩後の経過を改善しましょう。酪農では乳量・乳成分に注意し、乾物摂取量の確認を行い、ボディコンディションの回復を図りましょう。 ・初乳の給与 自然ほ育や人工ほ育の別に問わらず、牛舎環境改善(消毒や換気)を行い衛生的な環境を保つとともに、人工ほ育の場合は良質な初乳を十分給与しましょう。 ・子牛の寒さ対策は今から準備! 子牛の管理適温は13～25℃です。朝晩冷え込んできますので、牛床に敷料をたっぷり使い、汚れたら取り除き乾いたものを追加しましょう。 また、牛体に直接冷たい風が当たらないように、すきま風をふさぐ工夫をしましょう。天井の高い施設では、コンバネやシートで一部を低くし、日中は換気を良くするため、はいでおきます。
大豆(±0日) <ul style="list-style-type: none"> ・天気を考慮し適期収穫を！ ほ場の成熟期、子実水分を確認し、収穫前に汚粒防止のため、わい化病株や雑草を抜き取りましょう。 <コンバイン収穫の目安> 子実水分20%以下、茎水分40%以下。 汚粒防止のため、収穫作業は晴天の日中に行う。 	豆類 <ul style="list-style-type: none"> ・雪腐病の防除を行いましょう 融雪の遅いほ場や滞水しやすいほ場では、特に雪腐病の発生が懸念されます。 越冬前(融雪前)の防除や翌春の融雪剤散布等を実施しましょう。 大豆(±0日) <ul style="list-style-type: none"> ・天気を考慮し適期収穫を！ ほ場の成熟期、子実水分を確認し、収穫前に汚粒防止のため、わい化病株や雑草を抜き取りましょう。 <コンバイン収穫の目安> 子実水分20%以下、茎水分40%以下。 汚粒防止のため、収穫作業は晴天の日中に行う。 	園芸 <ul style="list-style-type: none"> ・葉綠素センチュウの被害が発生したほ場では、次の豆類作付までの間隔をあける(大豆と小豆の連作も避けましょう)、クローバ類や抵抗性品種を導入するなど、センチュウ密度を減らす対策を検討しましょう。 てんさい(早7日) <ul style="list-style-type: none"> ・集荷時期にあわせて、計画的に収穫をしましょう ほ場が過湿状態で収穫を行うと、土砂の混入が多くなるので注意しましょう。 ・次年度に向けたほ場づくり 茎葉は、収穫後できるだけ早くすき込みましょう。茎葉をすき込むことにより、次年度作物で減肥することが可能となります。 	プロッコリー <p>下葉の葉緑がV字に黄変し、蔓延すると花蕾にも症状が拡大する「黒腐病」の発生が多くなる時期です。</p> <p>特に10月中旬～下旬収穫作型の「スピードドーム」は本病が発生し易いため注意が必要です。「コサイド3000」等で予防的に防除を行いましょう。</p>
畑作 <ul style="list-style-type: none"> ・次年度の作付に向けて、土壤診断を行いましょう 収穫が終わったほ場は、土壤(15～20cm)を採取しましょう。 ・pHの改善 作物の生育不良などは土壤の酸性化が原因の場合があります。 土壤診断値に基づき、秋のうちに炭カルなどで酸度矯正を行いましょう。 ・適正な施肥 ほ場における養分の蓄積状態とバランスを知り、作物にとつて適正な養分状態に調整することが大切です。 堆肥を定期的に投入しているほ場は、加里過剰になつてゐる場合があります。加里成分を抑えた肥料を施用し効率的な施肥を計画しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度の作付に向けて、土壤診断を行いましょう 収穫が終わったほ場は、土壤(15～20cm)を採取しましょう。 ・pHの改善 作物の生育不良などは土壤の酸性化が原因の場合があります。 土壤診断値に基づき、秋のうちに炭カルなどで酸度矯正を行いましょう。 ・適正な施肥 ほ場における養分の蓄積状態とバランスを知り、作物にとつて適正な養分状態に調整することが大切です。 堆肥を定期的に投入しているほ場は、加里過剰になつてゐる場合があります。加里成分を抑えた肥料を施用し効率的な施肥を計画しましょう。 	だいこん・こかぶ <p>気温が下がる10月は、白さび病(ワツカ症)発生に注意が必要です。「ハチハチ乳剤」は、害虫防除と白さび病防除を同時に実行します。</p> <p>使用時期に注意し、適正に防除を行いましょう。</p>	ミニトマト <p>気温が下がる10月は、着色が遅くなるとともに裂果の発生が増えます。土壤水分の急変、ハウス内の過湿(特に早朝)により裂果の発生は助長されます。</p> <p>明け方のハウス内は過湿状態になつております。モヤがかかるつています。気温の低い朝でも一度モヤ抜きをし、除湿を行つてから日の温度管理(20～25℃)を行いましょう。</p> <p>夏が過ぎ、草勢が落ちると、うどんこ病の発生が心配されます。特に昨年発生したほ場では引き続き発生しやすいため注意し、「アフェントフロアブル」等により灰色かび病との同時防除を行いましょう。</p>

組合員情報



洗車&オイル

洗車+サンパワー

10/1日木～15日木

※洗車時間：朝9時～夕方18時迄
(屋外は除く)★日曜・祝祭日も承ります。

オイル+サンパワー

10/1日木～11/30日金

※日曜日は除く
※平日は朝9時～夕方17時迄(屋外は除く)

アドアプロモシリーズ

環境への優しさと、経済性を実現した
21世紀のエンジンオイルです。



期間中、エンジンオイルは
当店通常価格より
216円
お安くあります。
税込

【アクア】
新開発を極めた
省燃費車対応
100%化学合成オイル
低粘度オイル

【エアロ】
新開発を極めた
省燃費車対応
100%化学合成オイル
低粘度オイル

【オイル交換でお得!】

キヤンペーン期間中農協スタンンドで
オイル交換をされた方に
BOX入りショッピング袋プレゼント!



期間中 カード半額!
オイル216円引き!
洗車
10%OFF

10,800円が
半額!!

5,400円が
半額!!

3,240円が
半額!!

車の下部は、塩カルマ泥で
大変な事になつていませんか?

下部洗浄
1回…324円 (税込)

カードは使用期限がありません



JA今金町ホクレン 給油所

TEL. 82-0241

営業時間 平日・祝祭日 7:30～18:30 日曜日 8:45～17:00
洗車時間 平日・祝祭日 9:00～18:00 (屋外のみ除く)
日曜日 9:00～16:30 (屋外のみ除く)



今回のテーマは

繁殖成績向上をめざして

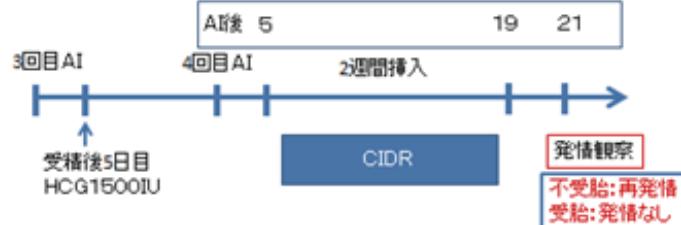
空胎日数短縮への第一歩

畜産経営において発情兆候微弱による発情発見率の低下や受胎率の低下および空胎日数の延長は経済的損失にかかる大きな問題となっています。

発情兆候微弱化などへの対策としてプログラム授精が応用されていますが、授精後の再発情の発見方法に関しては今まで有効な手段がなく、授精後妊娠鑑定までに明確な発情を示さなければ再授精されずに野放しになっているのが現状であり、空胎日数の延長につながっています。

空胎日数短縮への第一歩と考え、不受胎牛の発見方法を盛り込んだリピートブリーダー対策について紹介します。(右図)

繁殖プログラム リピートブリーダー対策



AIが3回目以上の牛にはAI後5日目にHCGを筋肉注射。それでも受胎しない場合にはAI後5日目よりCIDRを2週間挿入するプログラムへ。

(引用:LIAJ NEWS No. 153)

【授精後5日目のHCG投与】

新たな排卵を引き起こし、二個目の黄体を作ることで、黄体期の充実を図り妊娠の成立と維持をはかります。

【授精後5日目のCIDR挿入(2週間)】

CIDR(シダー)は、黄体ホルモンをしみこませた製剤で、腔内に留置することで黄体ホルモンが吸収されるものです。この製剤を用い、授精後早期に黄体ホルモン濃度を上げることで、胎子のもととなる授精卵(胚)の成長を促します。

【HCG投与とCIDR挿入の併用】

上記の相互作用が期待されます。

このプログラムは、受胎しなくても次の発情(再発情)を見逃さないことが重要であり、発情観察ができ発情発見率が上昇することが大きな特徴です。

長期不受胎牛を減らし、健康な牛群を継続して維持・管理していくことが繁殖成績の向上につながると思われます。

文：道南NOSA I今金家畜診療所 葛井愛子

※このコーナーでは、皆さんからの疑問・質問を大募集中です！
取り上げて欲しいテーマ等ありましたら、ぜひ農業経営課までご連絡下さい。

